

令和5年度 さいたま市青少年宇宙科学館 第2回 運営委員会



◆◆◆ 次第 ◆◆◆

- 1 開会のことば
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1)令和5年度事業報告について
 - (2)令和6年度事業計画について
- 4 閉会のことば

令和6年3月6日(水) 15時00分開会

目次

1	令和5年度の主な取組等	3
2	第1回運営委員会を受けて検討した内容等	6
3	令和5年度事業内容	
(1)	若田宇宙飛行士応援プロジェクト	8
(2)	「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの推進	9
(3)	「宇宙のまち さいたま」事業	11
(4)	展示事業	16
(5)	プラネタリウム投影事業	24
(6)	教室事業	28
(7)	学校等支援事業	30
4	統計	34
5	広報関係概要	37
6	令和5年度 成果と課題	38
7	令和6年度 主な事業計画	39

1 令和5年度の主な取組等

(1) 若田宇宙飛行士ミッション応援プロジェクト

◆市長表敬訪問

◆子どもたちと若田氏の交流会

当館名誉館長「若田光一JAXA宇宙飛行士」に関するイベントを開催。若田氏の活躍を科学館からさいたま市へ、さらには日本全国へと発信した。また、若田氏を青少年宇宙科学館に招き、市民との交流の場を設け、宇宙や科学への興味・関心を高める機会を提供できた。

◆2階宇宙広場「若田宇宙飛行士コーナー」のリニューアル

若田光一氏の5度目の宇宙ミッションを記念し、その活躍をわかりやすく解説するパネルや、これからの宇宙開発を紹介する模型展示を充実させた。

1 令和5年度の主な取組等

(2)「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの推進

◆「宇宙のまち さいたま」フォーラムの開催

若田宇宙飛行士の講演会、スペースコース修了生の発表、企画展やワークショップを開催し、専門家・大学・企業等で構成される「宇宙のまち さいたま」サポーター等の協力も得て、市民が「宇宙のまち さいたま」に関心をもつとともに、宇宙や科学の面白さや不思議さに触れ、宇宙や科学へのあこがれや大きな志をはぐくむ場となった。

◆「宇宙のまち さいたま」各種事業の充実

若田宇宙飛行士アカデミー事業「スペースコース」・「ロボットコース」をはじめ、若田名誉館長杯ローバーロボット大会2023、高校生ロケット大会、中高生等によるサイエンスフェスティバルなど、運営方法を工夫して実施し、参加者満足度は高い水準を維持している。

1 令和5年度の主な取組等

(3) 館主催および連携事業

◆体験・参加型に特化した企画展運営

◆「市民の日」無料投影・ワークショップの開催

- ・令和5年5月1日 プラネタリウム無料投影・ワークショップを開催。
- ・プラネタリウム825人・ワークショップ288人が参加した。

◆学校連携の充実

- ・全ての市立小学校4年生、中学校・中等教育学校3年生、特別支援学校を対象とした「プラネタリウムを活用した学習利用」の実施。
- ・スクール・サポート・サイエンス事業(出前授業、出前天体観望会)の実施。

◆他課との連携

- ・さいたま国際芸術祭2023と共催。
- ・さいたま市から「体験の風を起こそう」運動に参加。

2 第1回運営委員会を受けて検討した内容等

1 図書コーナーの充実について

- ・蔵書データベースを作成し、管理。
- ・新入荷書籍の紹介。

2 児童生徒による館内ボランティア活動の推進について

- ・夏休みに加え、秋のサイエンスフェスティバルにおいて実施。
- ・小学生の参加も促進。

3 サイエンスフェスティバル「動画コンテスト」の動画上映について

- ・サイエンスショーコーナー前のモニターにて全ての参加校を上映

3 令和5年度事業内容

(1)若田宇宙飛行士ミッション応援プロジェクト

市長表敬訪問 若田宇宙飛行士との交流会

令和5年6月1日(木)
青少年宇宙科学館



「若田宇宙飛行士コーナー」 リニューアル

令和5年11月3日(金・祝)～
科学館2階 宇宙広場



ぜひ、新しくなった展示をご覧ください！

(2)「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの推進

「宇宙のまち さいたま」フォーラム

講演会 ソニックシティ大ホール
令和5年11月14日(火) 参加者:1,613人



●感想

○若田さんの熱い思いがすごく伝わってきて、本当に宇宙が好きなんだと思った。宇宙飛行士には、何事にもチームワークが必要不可欠だと改めて認識した。
○子どもの質疑応答がとてもよく、若田さんの答えも真摯で分かりやすかった。こういった草の根イベントが、宇宙を目指す子ができるきっかけになると思った。

令和5年11月3日(金)～26日(日) 参加者:8,908人

ワークショップ 令和5年11月19日(日)



大宮北高等学校



ものづくり大学



ディレクトフォース



彩ねっと



宇宙少年団さいたま支部

企画展



(3)「宇宙のまち さいたま」事業

若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース



●応募倍率 1.9倍（定員24人/応募者46人）

●内 容

- ・元JAXA職員による講義・実験やハイブリッドロケットの発射実験など
- ・宇宙開発分野で躍進する企業による講義
- ・ディスカッションを通して考えを深め合い、発信するプログラム

●成 果 満足度 とてもよかった**87.5%** よかった**11.0%**

グループで実験したり、話し合ったりすることで、体験を通して、友達と親しくなり、最後まであきらめずに取り組みました。宇宙飛行士に一步近付いたと思います。

自分の夢が今まで、少し漠然としているものだったけれど、「スペースコース」を受けたことで、知識が増え、以前より現実的なものになってきたのではないかと感じました。

若田宇宙飛行士アカデミースペースコース アドバンス



- 応募者 令和4年度若田宇宙飛行士アカデミースペースコース修了生
12人(小学生 4人・中学生 8人)
- 内 容
 - ・最先端の宇宙開発に携わる企業の講義 清水建設株式会社
 - ・「宇宙のまち さいたま」フォーラムにて研究成果の発表
 - ・ディスカッションを通して考えを深める
- 成 果 満足度 とてもよかった**100%**

ディスカッションをする中で、自分の知識の少なさを痛感した。広い視点をもってより詳しい知識を身に付けていきたい。

絆の大切さ、宇宙の広さについて学ぶことができた。月に居住区をつくるために仕事をする人がたくさんいることを知れた。

今回は、若田さんから実際に話を聞いて良かった。将来、宇宙開発の様々な計画に携わるようになりたい。

若田宇宙飛行士アカデミー ロボットコース

★発達段階に応じたロボット教室

ロボット・プログラミング入門(小1～小3)向け:ディスカバリーコース

ロボット・プログラミング応用(小4～中3)向け:チャレンジコース

ロボットコースディスカバリー	実施日	参加人数
プログラミングロボットで遊ぼう	R5.10.8	17組
ロボットミッション1・2・3	R6.1.14	35組
ねずみロボットを作ろう	R5.8.26	37組
メリンちゃんを動かそう	R6.2.18	19組

ロボットコースチャレンジ	実施日	参加人数
スカベンジャーロボットを作ろう	R5.8.13	19組
プチロボを作ろう	R5.9.17	14人
宇宙エレベーターロボットを作ろう	R5.7.16 R5.12.10	27人
Micro:bitでプログラミング体験をしよう	R5.11.26	10人



若田名誉館長杯ローバーロボット大会2023

令和5年8月20日(日)

小学生の部



中学生の部



	対象	参加チーム数・人数
小学生の部	小学4～6年生	12チーム 24人
中学生の部	中学生	19チーム 38人

コズミックカレッジ

キッズコース 令和5年10月8日(日)宇宙劇場会場

ジュニアコース 令和6年 3月3日(日)科学館会場

コース	対象	内容	参加人数
キッズコース	小1・2年生とその保護者	星砂を探そう・かさ袋ロケットを飛ばそう	17組34人
ジュニアコース	小3～中学生	簡易真空実験・空力翼艇	20人(予定)

高校生ロケット大会2023



- 受講者 **6人**
- 日時 令和5年11月25日(土)
- 会場 大宮北高等学校 視聴覚室および校庭
- 講師 日本モデルロケット協会 指導講師 平川 和明 氏
東海大学工学部・情報理工学部の学生 3人
- 内容
 - ・オリエンテーション、講義「ロケットの原理」
 - ・演習「モデルロケット製作」
 - ・打ち上げ実験
 - ・結果発表、表彰式

はじめてロケットをつかって、こういった仕組みで飛んでいるのか知ることができたし、実際に飛ばしてみても、ロケットのすごさを知ることができた。

友達と協力してロケットを打ち上げることができてよかった。大学生や先生方と話すとても貴重な経験ができた。

(4) 展示事業

令和5年度企画展一覧

R6.2.29現在

	企画展名	期間	概要	期間中 来館者数
I	星空の絶景写真展	R5.4.1～ R5.5.7	日本各地で撮影した美しい星景写真作品を展示。	11,464人
II	キラキラのむしむしわ～るど2023	R5.5.20～ R5.7.9	様々な昆虫の標本やカブトムシに触れあえる体験ブース展示。	23,128人
III	夏休みこども科学館まつり(ホラーハウス展含む)	R5.7.15～ R5.9.10	ワークショップやサイエンスショー、「怖い」を科学するパネルやお化け屋敷体験の展示。	33,842人
IV	プラネタリウム100周年展	R5.9.30～ R5.10.22	プラネタリウムの歴史などの解説パネルや投影機器の展示。	6,484人
V	人類の宇宙への挑戦	R5.11.3～ R5.11.26	宇宙開発や月・火星探査の解説パネルと模型の展示。	8,908人
VI	科学捜査展	R5.12.9～ R6.2.4	科学捜査に使われる機器や科学的な仕組みを体験する展示	11,019人

企画展 I 『星空の絶景写真展』

令和5年4月1日(金)～令和5年5月7日(日)



展示の様子



ギャラリートークショー

企画展Ⅱ 『キラキラのむしむしわ～ると2023』

令和5年5月20日(土)～令和5年7月9日(日)



カブトムシふれあい体験



大型模型展示



標本・パネル展示



企画展Ⅲ『夏休みこども科学館まつり』

令和5年7月25日(火)～令和5年8月13日(日)

ワクワクワークショップ



【製作物】

- ・UVビーズブレスレット
- ・蓄光キーホルダー
- ・カラフルスライム

ワクワクサイエンスショー 夏休み自由研究スペシャル



博物館実習生による
サイエンスショー

企画展Ⅲ『夏休みこども科学館まつり』

令和5年7月15日(土)～令和5年9月10日(日)

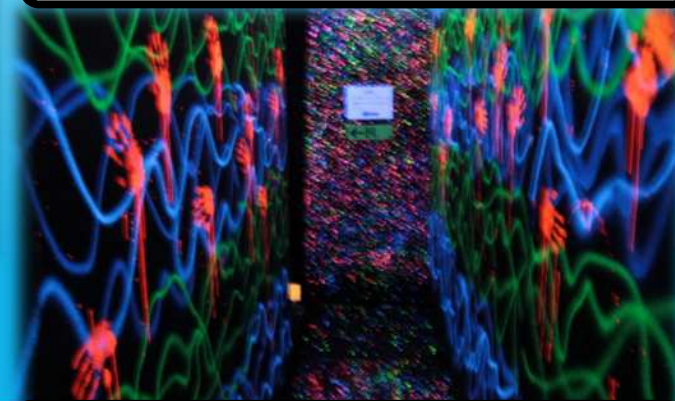
ホラーハウス体験



体験の待機列



記念写真も！



ホラーハウス

企画展Ⅳ「プラネタリウム100周年」

令和5年9月30日(土)～令和5年10月22日(日)

展示



関連イベント

講演会
演題 「世界に星空を求めて」
プラネタリウム映像クリエイター KAGAYA氏

日時 令和5年 11月26日(日) 13:30～14:45
場所 1階青少年ホール
人数 250名
申込 9月1日(金)～10月31日(火)の期間内に、生涯学習システムにてWeb申込。応募多数の場合は抽選。
※Webでの申込方法は裏面参照

特別投影
「プラネタリウム映像クリエイター KAGAYA氏」による特別投影
プラネタリウム番組「水の惑星」

日時 令和5年 11月26日(日) 15:50～16:40
定員 250名
入場券について 当日の販売となります(チケット販売時間9:00～15:45)
※定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
●投影中の入退場はできません。
●小学校3年生以下のお子様は、安全のために保護者同伴をお願いします。

KAGAYA氏プロフィール
宇宙と神話の世界を描くアーティスト。プラネタリウム番組「銀河鉄道之夜」が全国で上映され観覧者数100万人を超える大ヒット。一方で写真家としても人気を博し、ベスト版写真集「Starry Nights—The Best of the Best」等を刊行。星空写真は小学校理科の教科書にも採用される。写真を投稿発表するX(Twitter)のフォロワーは約85万人を超える。天文普及とアーティストとしての功績をたたえられ、小惑星11949番はkagayayutaka(カガヤユタカ)と命名されている。公式サイト: <http://www.kagayastudio.com>

企画展Ⅴ

「人類の宇宙への挑戦～月へ、そして火星へ～」

令和5年11月3日(金・祝)～令和5年11月26日(日)

映像やパネル展示



火星や月の模擬砂体験



月面探査をしよう



企画展Ⅵ「科学捜査展」

令和5年12月9日(土)～令和6年2月4日(日)



さいレンジャーが主人公！



センサーで映像が変化する



光のふしぎ体験



声紋くらべ体験

(5) プラネタリウム投影事業

一般投影			R6.2.29現在
番組名	投影期間	投影回数	総入場者数(人)
名探偵コナン	R5.4.1～R6.3.31	160	8,905人
リラックマ	R5.4.1～R5.10.29	90	8,203人
水の惑星	R5.4.1～R6.3.31	68	3,368人
チコちゃんに叱られる！2	R5.7.22～R6.3.31	157	5,478人
虹の天象儀	R5.10.1～R6.1.8	30	817人
くまのがっこう	R5.11.3～R6.3.31	53	1,597人
星宙散歩	R5.4.8～R6.3.31	25	841人
特別投影			R6.2.29現在
番組名	実施日	投影回数	総入場者数(人)
Challenge to the UNIVERSE !	R5.4.29～R5.5.7	6	396人
プラネタリウム de 読み聞かせ	R5.2.26	1	69人
はじめてのプラネタリウム	毎月1回(11月2回)	11	1,340人
熟睡プラ寝たリウム in さいたま	R5.11.23	1	50人

学習投影（プラネタリウム学習利用）

小学4年生（科学館会場）



中学3年生（科学館会場）



	実施期間	学校数	参加人数(人)
小学校第4学年	R5.5.10～R5.12.8	104校	11,852人
中学・中等教育学校 第3学年	R5.9.1～R5.11.30	59校	10,195人
さくら草特別支援学校	R5.10.12	1校	14人
ひまわり特別支援学校	R5.10.13 R5.11.9	1校	9人

※その他 ルーテル学院小学部、埼玉大学附属小も実施

学習投影評価（小学校）

学習効果に対する評価（108校）

	そう思う(A)	どちらかという そう思う(B)	どちらかという そう思わない(C)	そう思わない(D)
興味・関心	97.2%	2.8%	0%	0%
理解	92.6%	7.4%	0%	0%
説明	97.2%	2.8%	0%	0%

- 設問**
- 興味・関心…児童の興味・関心を高めることができた。
 - 理解…月や星の動きと時間の経過についての理解を深めることができた。
 - 説明…科学館職員の説明はわかりやすかった。

学校からの実施報告書より

- ・学習番組および星空解説では、天体に関する様々な事柄について楽しんで学ぶことができました。北極星の見つけ方や星空にまつわるエピソードなど心に残る説明も多くあり、興味関心を高めながら学ぶことができました。
- ・星座早見では、プラネタリウムのドームに星空を映し出しながら基礎から丁寧に指導していただいたので、全員が使い方を理解し扱えるようになりました。
- ・サイエンスショー「空気のふしぎ実験」では、科学的な事象について、工夫された実験や提示資料でわかりやすく解説されていて、多くの児童が引き込まれ、科学の面白さを実感していました。

学習投影評価（中学校・中等教育学校）

学習効果に対する評価（61校）

	そう思う(A)	どちらかという そう思う(B)	どちらかという そう思わない(C)	そう思わない(D)
興味・関心	91.8%	4.9%	3.3%	0%
理解	85.2%	14.8%	0%	0%
説明	95.1%	4.9%	0%	0%

設問

- 興味・関心…生徒の興味・関心を高めることができた。
- 理解…天体についての理解を深めることができた。
- 説明…科学館職員の説明はわかりやすかった。

学校からの実施報告書より

- ・番組内容が授業の内容に即しており、生徒にとって勉強になった。学校では実験や観察できないものを視覚的に学習でき、深い理解につながった。
- ・臨場感があり、宇宙の壮大さに圧倒された生徒が多く、これからの学習に興味をもっていた。
- ・実際の星を見る機会が少ない生徒も多く、既習事項の振り返りや、深掘りされた内容などの解説、大きな映像を通して、理解を深めることができた。
- ・「知れば知るほど天体の美しさに感動し、宇宙の神秘に触れることができた」など心を揺さぶられたという生徒の感想が多数あった。

(6) 教室事業

R5.2.28現在



魅力ある教室事業



定例ワークショップ



館内イベント
(特別サイエンスショー)

事業名	実施回数	参加人数(人)
天体観望会	12回	940人
土曜ワークショップ	54回	3,628人
特別サイエンスショー	3回	1,059人

令和5年度教室事業一覧

R6.2.29現在

事業名	実施回数(回)	参加人数(人)
科学実験教室	4回	67人
身近な科学探検の会(ボランティア)	3回	24人
くらりか(ボランティア)	4回	52人
科学実験教室(リコー)	12回	19人
科学工作教室	6回	100人
自然観察教室	3回(中止1回)	71人
顕微鏡教室	4回	51人
天文宇宙教室	3回	22組44人
植物画教室	2期(1期4回)	(1期65・2期68) 133人
昆虫博士教室	6回	428人
切り絵教室	1回(中止1回)	75人
合計		1,064人

(7) 学校等支援事業

スクール・サポート・サイエンス事業



出前授業
(対象: 小学3年・小学6年)



出前天体観望会
(対象: 小・中・中等教育・特別支援学校)

令和5年度実績

出前授業 応募校数: 26校 実施校: 19校 (3学年: 13校 6学年: 6校)
【参加人数: 1,927人】

出前天体観望会 応募校数: 8校 実施校: 8校 【参加人数: 899人】

スクール・サポート・サイエンス事業（評価）

アンケート実施（27校）

	そう思う(A)	どちらかという そう思う(B)	どちらかという そう思わない(C)	そう思わない(D)
興味・関心	100%	0%	0%	0%
運営・内容	100%	0%	0%	0%
説明	100%	0%	0%	0%

- 設問**
- 興味・関心…職員は児童生徒の興味・関心を高めることができた。
 - 運営・内容…実施計画に従い、適切に携わった。
今後の指導の参考となる内容だった。
 - 説明…科学館職員の説明は効果的であった。

学校からの実施報告書より

- ・教科書に載っている教具だけではなく自作で作った教材を活用して実演することは、児童の興味関心を引くことに繋がると感じました。
- ・学校ではなかなか実施できないダイナミックな演示実験は、学習の深まりに効果絶大であった。
- ・子どもも大人も感動の歓声をあげていた。図鑑等で観るのとは違い、立体的に観ることができたので大満足の時間になった。

中高生科学館ボランティア



ワークショップ運営



企画展運営補助

参加校数・人数

中学校：19校・57人 中等教育学校：2人 高等学校：6校9人

感想

- ・ボランティア活動に参加して、思いやりのことを学びました。また、「気配り、ひと工夫、反省を生かす」は、今後の自分にいかされると思いました。
- ・無償だからこそその達成感がありました。ボランティアをすることは、大変さと楽しさの紙一重だと感じました。
- ・一緒に活動した中で、自分から声をかけることの大切さを学ぶことができました。

サイエンスフェスティバル

オータム

令和5年11月11日(土)12日(日)

2日間 1,298人

参加校数・生徒数

ワークショップ : 中学校9校

サイエンスショー: 中学校2校 計130人



サイエンスショー

ウィンター

令和6年2月17日(土)

参加校数・生徒数 9校17チーム 106名

最優秀賞 東浦和中学校 「東浦和軍団」

優秀賞 内谷中学校 「地震班」

優秀賞 埼玉大学附属中学校

「ワンダホーパーリナイ」



ワークショップ

感想

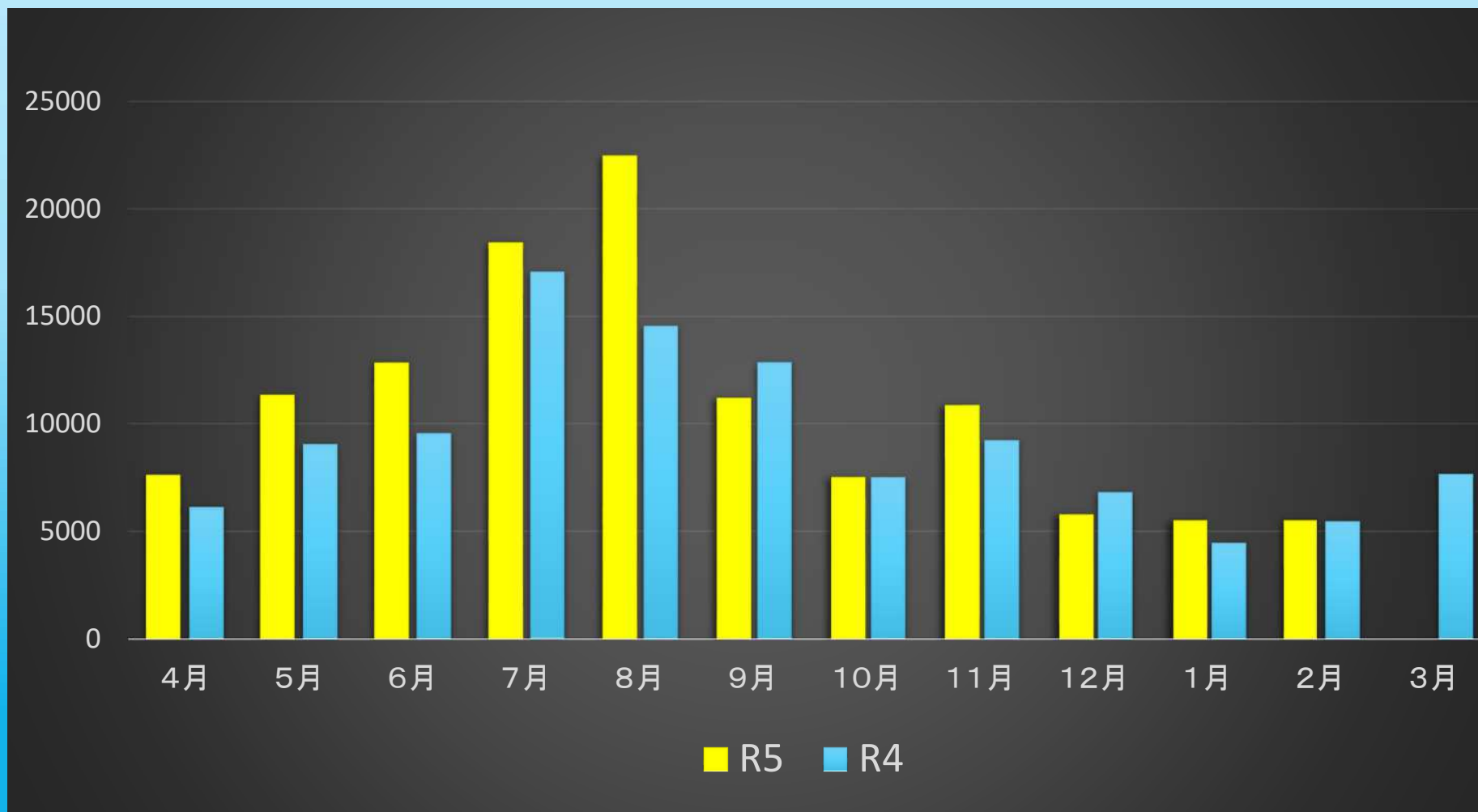
・とてもやりがいのある活動だった。準備も大変だったが、当日の活動はそれ以上に大変だった。説明や教えることの難しさを知ることができた。

・サイエンスショーをやって、小さな子どもや大人の人たちが楽しんでくれていてとてもよかった。また、このような機会があったら参加してみたい。

4 統計

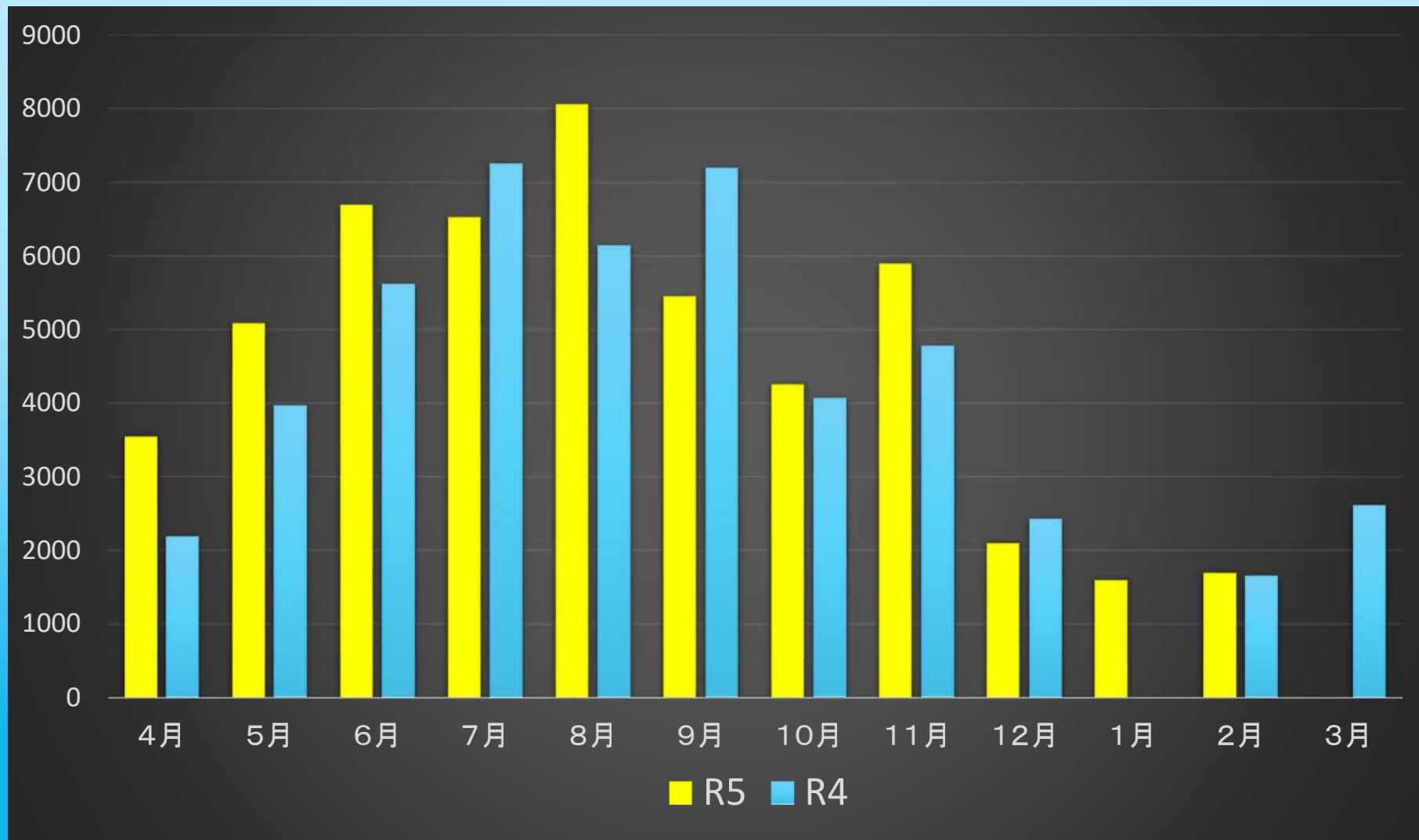
①入館者数

※R5.8.28現在



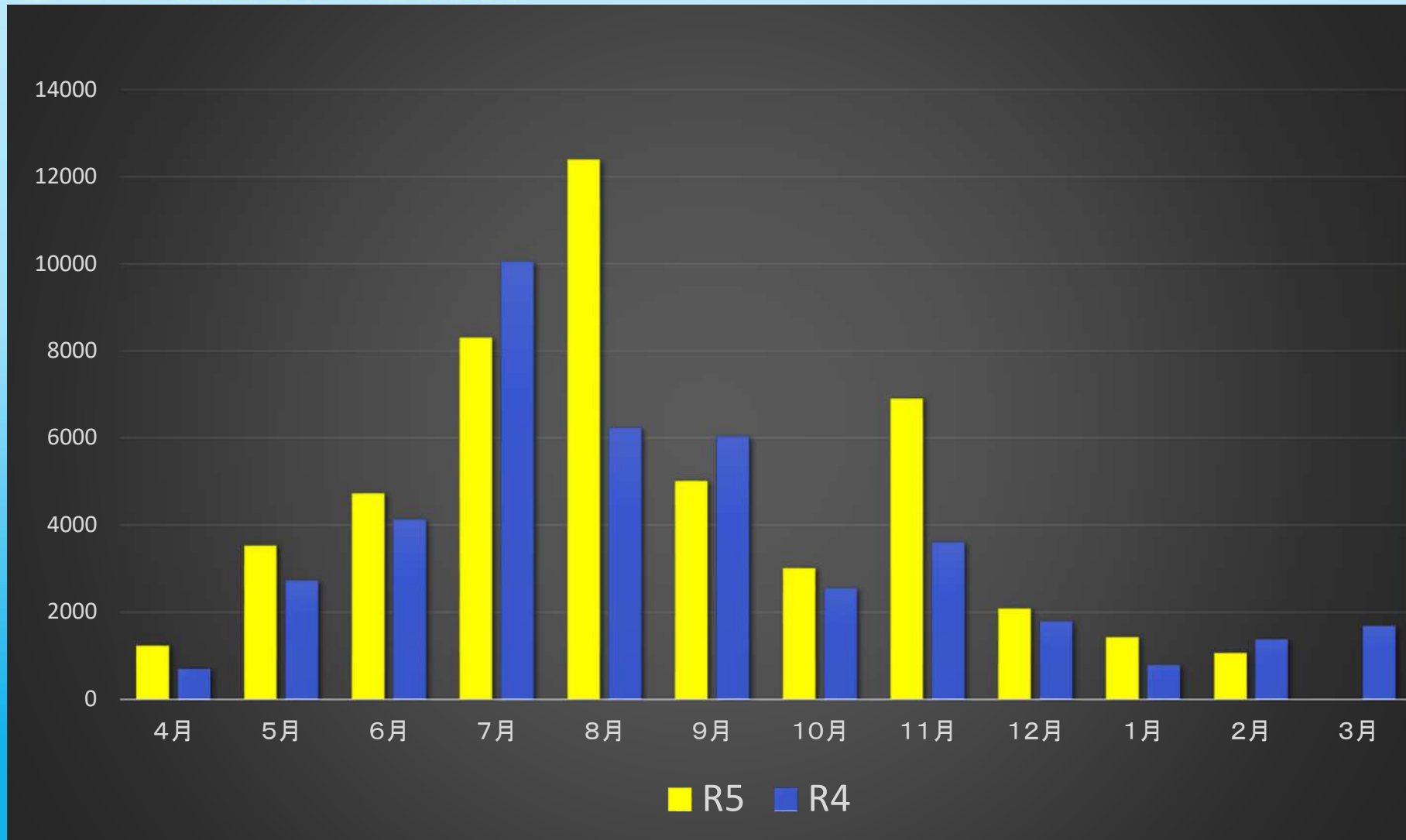
② プラネタリウム利用者数

※R5.8.28現在



③施設利用者数

※R5.7.31現在



5 広報活動概要(報道発表含む)

(1) チラシ年11回(内4回配付済)

※R6.2.29現在

(2) ラジオ

・REDS WAVE「さいたまトピックス」で毎月2回科学館から電話出演(録音)

(3) 雑誌・情報誌・Web

・市報さいたま ・埼玉県広報誌「彩の国だより」・さいたま子育て情報局

・旅行情報サイト「NAVITIME Travel」・エスティフまっふる(社会科見学版)

・株式会社地球の歩き方「地球の歩き方 宇宙兄弟」・しんきん圏央道アライアンスWebサイト

(4) テレビ

・NHK 6月1日「首都圏ネットワーク」(「若田宇宙飛行士と宇宙を語ろう!」交流会)

・テレビ埼玉 6月1日「ニュース930」(「若田宇宙飛行士と宇宙を語ろう!」交流会)

・J:COM 6月2日「LIVEニュース」(「若田宇宙飛行士と宇宙を語ろう!」交流会)

・フジテレビ 7月26日「世界の何だコレ!?ミステリー」(解説提供)

・テレビ埼玉 8月12日「ウィークエンドニュース17:45」(科学でホラーハウス)

・テレビ埼玉 11月14日 「ニュース545」(『宇宙のまち さいたま』フォーラム)講演会)

・NHK 11月21日 「首都圏ニュース845」(プラネタリウム100周年記念講演会)

(5) 新聞(電子版含む)

・共同通信 6月 1日 配信「若田宇宙飛行士と宇宙を語ろう!」交流会

・読売、埼玉、朝日新聞 6月 3日 朝刊「若田宇宙飛行士と宇宙を語ろう!」交流会

・埼玉新聞 6月 9日 朝刊「キラキラのむしむしわ〜るど2023」

・読売新聞 8月13日 朝刊「科学でホラーハウス」

・埼玉新聞 9月28日 「『宇宙のまち さいたま』フォーラム」概要

・埼玉新聞 11月15日 「『宇宙のまち さいたま』フォーラム」講演会

・埼玉新聞 (Kid's埼玉新聞) 2月21日 青少年宇宙科学館の施設紹介

6 令和5年度 成果と課題

【成果】

- ・若田宇宙飛行士ミッション応援プロジェクトの充実
 - 子どもたちと若田光一JAXA宇宙飛行士の交流会
 - 2階宇宙広場「若田宇宙飛行士コーナー」の展示更新
- ・「宇宙のまち さいたま」フォーラムの開催
 - 若田光一JAXA講演会 ○企画展 ○ワークショップ
- ・小さな子ども向け「はじめてのプラネタリウム」の毎月1回の実施
- ・新型コロナウイルス感染症5類移行を意識した館運営の転換
- ・宇宙劇場、他課と連携したイベントの実施
- ・他県による当館の視察
(群馬県栃木市向井千秋記念子ども科学館、長野県南佐久郡川上村)

【課題】

- ・「宇宙のまち さいたま」の市民へのさらなる周知
 - 「宇宙のまち さいたま」を学校、来館者だけでなく、幅広く周知する方法の検討
- ・来館者数、プラネタリウム利用数の増加を意識した運営方法の見直し

7 令和6年度 主な事業計画

祝！「宇宙のまち さいたま」5周年記念

【「宇宙のまち さいたま」記念フォーラム】

- 講演会 JAXA職員または宇宙開発企業による講演会
- 発表 若田アカデミースペースコース受講生による発表
- イベント VRを駆使した宇宙の疑似的体験等ワークショップ

NEW

【「宇宙のまち さいたま」事業の充実】

- ・若田宇宙飛行士アカデミー「スペースコース」全8回実施
JAXA筑波宇宙センター見学、鹿島建設等宇宙開発企業の講義
- ・中高生等によるさいたまSTEAMS教育 サイエンスフェスティバル
学習用ポータルサイトを活用した動画コンテストの実施

【館内イベント】

- 企画展 ワクワクおもちゃランド展、ティラノサウルス展、ダンボール展 他
- 常設展示 若田宇宙飛行士解説ツアー・定例ワークショップ・サイエンスショー
・特別サイエンスショー（年4回）
- プラネタリウム 通常番組投影・読み聞かせ・はじめてのプラネタリウム 等